

藤 沢

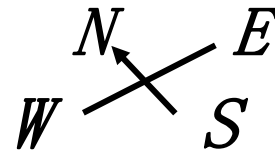
エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット

2022年3月1日

第334号



主
な
記
事

- ・携帯基地局の設置が中止に
- ・忘れまい 3.11 震災の記憶
- ・核兵器禁止条約発効から 1 年
- ・脱炭素強力な推進体制を求める

<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

☎ / F A X 0466-87-4922

放射能汚染物質を海へ、陸へまき散らし未来はどうなる？

福島原発事故から 11 年、復興は進み帰還者も増えてきて、漁業や農業も立ち直ってきました。

魚やコメの放射能は規制値以下になり、安心して売買できるようになりました。

ところが、最近、除染し取り除いた土などが入ったフレコンバックをあまり見かけません。環境省は 2016 年 3 月、放射能汚染された土が 8000 ベクレル/kg 以下ならば、公共工事に利用できる方針を出したのです。しかし原子炉等規制法では安全に再利用できる廃棄物は 100 ベクレル/kg 以下です。8000 ベクレル/kg 以下の廃棄物は安全に処理ができる廃棄物で、再利用はできませんでした。大きな歴史上汚点となる転換でした。

日本の大地が汚染されることになりました。

更に 2021 年 4 月、廃炉・汚染水・処理水対策関係閣僚会議で、処理水を 2 年後に海洋放出する基本方針を決定しました。トリチウム以外の核種について環境放出の際の規制基準を満す ALPS 処理水を放出します。規制基準を満たすまで希釈して放出するのです。希釈したからと言って、放射能が減るわけではありません。総量が問題です。海はゴミ捨て場ではありません。漁業や環境への影響は計り知れず、未来の海はどうなるのでしょうか。反対署名運動が漁業関係者はじめ、各地で続いています。

原発事故以降、福島県に安全で CO2 を出さないメガソーラーが 100 か所以上できました。1 メガワットで 200 所帯分の年間消費電力を賄えます。しかし、緑を広く伐採し環境を壊すとしてリスクが問題になっています。農業と兼業できるソーラーシェアリングや屋根利用の太陽光発電が期待できます。

日本の原発依存度は震災前約 31% ありましたが、震災後止まり、その後再稼働、2020 年は 4.3% でした。2021 年 10 月決定した国の第 6 次エネルギー基本計画では 2030 年、原発 20~22%、再エネ 36~38%、としています。人類と共存の難しい原発は、核兵器とともに廃棄するのが、未来の子どもたちへの贈り物ではないでしょうか。

(青柳節子)



河津桜

2 月 27 日は見頃でした

忘れまい 3.11 東日本大震災の記憶

帰宅難民となって東京駅構内で一晩過ごす

私は、2011年3月11日、東日本大地震の時、ごみ有料化裁判の帰りに、地下鉄丸の内線の電車の中で地震に遭遇しました。

突然、車内は大きく揺れ、とても立って居られない位の揺れでした。車内から、地震だ！と大きな叫び声上がり、電車は急停車しました。このまま電車の中に閉じ込められたらヤバイぞと思っていましたが、やがて揺れも収まり、電車はゆっくり動きだし、近くの大手町駅で止まりました。ヤレヤレ助かったな、と思い急いで外に出てみると、大勢の人が近くのビルから飛び出して、広場は、人で一杯でした。外の余震はまだ続いていて、高層ビルの屋上に設置されていたクレーンが大きく揺れ、身の危険を覚える程でした。ビルから出てきた人たちも大勢いましたが、皆、ビルの前の広場に整然と避難し、けが人はありませんでした。

しかし、すべての交通機関がストップしたため、大勢の人々が東京に足止めさせられてしまいました。写真は、東京駅で一夜を過ごさなければならなかった時の写真です。長い時間、何の混乱もなく、東京駅の構内で、静かに夜が明けるのを待ちました。



東京駅で一晩過ごした時

この写真の中に、幼い女の子と一緒に親子の映像がありますが、思わぬ大地震に巻き込まれ、一夜を東京駅で過ごさなければならなくなった女の子に対し、手を振ってあやしている女性の姿が。厳しい条件下にあっても優しさを忘れない女性の存在に、またあどけない女の子の仕草に心暖まる思いがしました。

騒然とした中にも、他を気遣う思いやりの気持ちも漂っていたような気がします。次の写真は、3月12日2時26分東京駅構内の映像です。通路に寝ていて思ったことは、前の晩テレビで繰り返し放映されていた東北各地の津波の映像です。あの大津波で流されていった、人々のことを思えば通路の寒さも何のことはない、頑張るんだということでした。

一夜明け、私は12日の早朝、地下鉄丸ノ内線から

千代田線に乗り継ぎ、小田急で無事、藤沢の自宅に戻ることができました。
(小林 麻須男)

携帯無線基地局の建設中止に

住民運動と健康上影響の診断書の力

モノレール片瀬山駅横の敷地に、楽天モバイル社(以下R社)携帯基地局の設置が予定されていることを知った近隣住民の方々が中止を求め、R社に住民説明会を行ってほしいと要望しました。ところが応じてもらえず、近隣の鎌倉市の住民にも呼びかけ、地域を回り請願署名を藤沢市長宛に提出しました。

市は、「藤沢市では条例がないので、説明会も必要ではなく(鎌倉市には住民説明会を行うよう条例がありますが藤沢にはありません)、また基地局の高さが15m以内であれば建築許可も必要ないが、皆さんの要望は事業者に伝える」とのことで住民の要望を市から事業者側に伝えて貰いました。

その後、「片瀬山風致地区での無線基地局を考える会」が発足し、鎌倉市民や市議も参加し集会も行いました。さらに敷地の管理者である湘南モノレール社(S社)に要望書を提出しました。

設置場所は、住宅街に近く高台に設置されると強風による騒音や、強い高周波電磁波が放出されるため、近くに住む住民への健康被害が心配されます。

診断書の提出も行う中、S社から「役員会議において正式に基地局の申し出をお断りした」と連絡がありました。

住民の皆さんの署名や賛同が大きな力となり中止させることができました。

私たちは運動の中で、地域には実際に電磁波過敏症の人がいることを重視しました。また現在自覚症状は無いが強い電磁波を受けるとリスクの高い心臓病の方、体に金属を埋め込んでいる方々が、周辺区域には複数人いることで健康被害がでる事を重視しました。

この地での基地局建設はなくなりましたが、無線基地局は近くでも、また全国どこでも増えているので政府もマスコミも健康への影響について報道しないため、多くの市民が知らないまま基地局建設がすすめられています。

電磁波による健康への影響の学習と周知は大切です。電磁波による過敏症の方とハイリスク者の方を早く探し出し、医師の診断書を貰うことは事業者との交渉上



からも大変重要と感じています。（片瀬山風致地区での無線基地局建設を考える会 加藤なを子）

脱炭素「強力な推進体制を求める」

市長の気候非常事態宣言(2021.2.15)から1年、藤沢市地球温暖化対策実行計画の最終案が出た(2/21)。7月の素案以来、意見公募もあり、幾度か改定案の機会があり、個人的にも何度も助言、陳情、環境審議会委員への参考意見等、意見具申してきたが、ほとんど聞き入れられることなく最終版決定に至った。

またエネルギー資源学会『2050年にむけた藤沢市の脱炭素シナリオの研究』歌川・外岡の研究発表(2021.8.2)も行い、外岡・歌川講演会『気候危機待ったなし(9/12)』も開催し、パブコメ市民意見提出の参考に供した。

今回の実行計画書について特に修正すべき点を指摘してきた。温室効果ガス現況排出量推計値が過大であると再三指摘したが修正されなかった。

独自に推計した2018年度現況CO₂排出量は1,944Gg(ギガグラム＝1000t)、市の実行計画書は2358Ggと1.2倍、うち産業用は514Ggに対して827Gg、1.6倍であった。

また最も期待される対策、太陽光発電施設(主に屋根上)設置の排出削減効果がわずかに2030年度0.82%としている。これは削減率計算の考え方が不適切であるため小さく、独自に求めた値はちょうど10%になった。他にも市内に適用できない省エネ技術や、今は流行らない手法等、市内46%削減に全く繋がらない対策ばかりが列挙されている。

またIPCC6次報告書が出されたのに数年前の5次報告を引用している等、残念ながら全く使い物にならない実行計画である。

市民主導の実行計画を別途作成する予定である。やる気ある人はこの指とまれ。

ウクライナで始まった戦争は天然ガス価格高騰と供給減、パリ協定達成への国際協力、世界市民関心集中の妨げになるだけでなく、脱原発派と推進派の対立の中で小規模原発を開発実用化して途上国に売り込もうという新ビジネスの興隆、自給率が低い日本のエネルギーと食料の供給にも深刻な悪影響を与える恐れがあることも考えておかねばならない。

(埼玉大学名誉教授 外岡 豊)

核兵器禁止条約発効一周年の行動

核兵器禁止条約が発効された2021年1月22日から1周年になった1月22日、核兵器廃絶を訴える市民団体が政府への条約参加を求めて藤沢駅南口やサンパール広場に集まりました。

この日は12時から16時まで「藤沢母親連絡会」「原水爆禁止藤沢市協議会」「ピースリレー・ふじさわ」など5団体が時間をずらしながら延べ80名ほどが拡声器で訴え、署名活動やアピールを行いました。大きな横断幕には「核兵器禁止条約発効一周年 日本も批准を！」と描かれていました。

この核兵器禁止条約は核兵器の使用、核兵器の開発や保有も含め全面禁止する国際法です。これまでに59カ国が批准し、オブザーバー参加を決めた国はスウェーデン、インドネシアなど10カ国に上るが、大国の米・英・仏・中・露の核保有国のほか、米国の「核の傘」下にある日本は参加をしていません。日本もオブザーバー参加はすべきなのは…。

被爆国の日本政府に批准を求めるための行動です。「唯一の戦争被爆国である日本こそ核廃絶をけん引すべき」と訴えていました。藤沢市も1982年「藤沢市核兵器廃絶平和都市宣言」をし、数々の平和のための事業を行ってます。



寒い中であり、コロナ禍でもあったこの日は、急ぎ足で通り過ぎる方も多い中、「署名します」と駆け寄ってくださる方もたくさんいました。

マスクで誰かは分かりませんでしたが、大勢の方が声を上げて駅前に立つことは、私たちの願いである平和と核兵器廃絶への一歩となった気がします。

(菅野悠子)



コロナの現状 ⑨

今年の正月明けごろからコロナの変異株オミクロン株が急増し始めた。

1月下旬から藤沢市内で100人200人と増え続け2月13日には600人を越えた。とにかく感染力が高いのが特徴。10歳以下や10代20代が多い。2/28の感染者はピーク時よりやや下がり、272人、累計19,602人(市HPより) 高齢者は重症になりやすく10日以上入院している方も多し。陽性が判明した場合は、医療機関の診断を待たずに自ら療養を始められるよう、「自主療養」を選べるようになった。市の保健所や関係機関はこの爆発的な感染に何とかしのいでいるようだ。

1月から2月の状況は

- ・保健所に電話がつながりにくい
- ・自主検査のための抗原検査キット売り切れ
- ・市がドラッグストアなど薬局に依頼し、無料検査ができるようになったが、検査キットが品切れでできなかった(その後出来るようになったが)
- ・PCR検査は検査条件が厳しく、濃厚接触でなくても検査できなかった。薬局によって違うのか?
- ・家庭内での接触者がいて心配な方はPCR検査を医療機関で行うことに(無料ではない)
- ・保育園、学童保育所が休園 学校も休校 親は休めないとき困っている。等々

さて比較的軽症の方は自宅療養をされている「重点観察対象者」にはパルスオキシメーター、配食サービス 電話による健康観察などの対策はしているとのこと。周りに感染者が出ていたので心配な検査希望者には無料でPCR検査をすべきと思う。

オミクロン株が広がったのは米軍関係者の入国時検査に問題があった。日本入国時にコロナ検査を免除し本国への出発時には検査を義務付けとの対応をしたと聞く。日本の法令は日米地位協定に基づき米軍には適応されないためだという。

1月21日～3月6日、神奈川県はまん延防止等重点措置の期間としたが、さらに延長を模索している。
(荒井)

ECONET INFORMATION

▲福島原発事故 10 年

放射能と私たちの未来～展示と講演

多彩な講師ゲスト多数

3月4日(金)～7日(月)10時-17時

オルタナティブ生活館(新横浜駅7分)

主催 福島原発事故10年企画実行委員会

問合せ 045-472-6349

▲平和・核廃絶に向けたフォーラム

オンライン開催

基調講演 川崎哲さん(ピースポート共同代表)

メール nonbil@pal.or.jpへ申込みを

3月5日(土)13:00-16:30

主催 国際交流 NGO ピースポート・パルシステム

生活協同組合連合会 無料



▲日中友好協会 春のつどい講演会

日時～3月26日(土)13:30(開場13:10)

講師～小林麻須男さん(日中友好協会会員)

場所～藤沢市役所本庁舎 5階第3会議室

資料代～300円

▲藤沢エコネットから

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

◆事務局会議3月5日(土)10:00～

六会公民館

放射能測定値(市民計測)

(HORIBA Radi) 単位(μSv/h) 地上50cm

2/28 晴 市役所分庁舎前 0.071

2/28 晴 市役所本庁舎1Fロビー 0.083

2/28 晴 湘南大庭公民館入口 0.057



《編集後記》ウクライナでは一般人がロシアからの爆撃で死者、負傷者多数、人道を無視した戦闘は全世界から非難されている。藤沢市民も「NO! WAR」の看板を持ち駅頭に立っていた。冬季北京五輪でメダルを持ち笑顔の活躍した選手たちがいたが、ウクライナ問題で吹っ飛んでしまった。怖い!(H)